

2月の月間目標



あとかたづけをしよう!



みなさんは遊んだ後やものを使った後に、後片付けをしていますか？面倒で後回しにしていますか？後片付けをすると、部屋がきれいになるだけではなく、心もすっきりします。片付けをするコツを紹介するので、おうちの人と一緒に自分の家の片付けのルールを見直してみましょう。

片付けタイムをつくろう

おうちの人と1日の中で片付けをするタイミングを決めましょう。「遊んだら片付ける」ではなく、「ご飯を食べる前の5分間はお片付けをする」というようにすると、ずるずると遊んでしまうことがなくなります。部屋が片付いているとすっきりします。片付けを毎日の習慣にしていきたいですね。



おもちゃはいつもの場所に入る分だけにしよう

おうちの人と、「おもちゃが一つ増えるときには一つ処分する」「このボックスに入りきるだけにしよう」といったようなルールを決めましょう。片付けする場所がなくて困ることがなくなり、さらにボックスも重くなりにくいので、子どもの力でも一人で持ち運びしやすくなります。



子どもの年齢にあわせた片付け方法の工夫

3歳ごろまで

3歳ごろまでの子どもは、なぜ片付けをしなければいけないのかを理解できていません。「どうしてできないの!」とおやみに叱るのではなく、「車はここに置いてね〜。」と声をかけながら、楽しそうに片付ける姿を子どもに見せてあげてください。

「よーいドン!」という合図でおもちゃをボックスに戻す競争をするなど、片付けを遊びの一環にするのもおすすめです。



3歳から6歳ごろまで

子どもの年齢が上がるにつれて、できる片付けも増えていきます。そこで、おもちゃのジャンルごとにボックスを用意して収納してみましょう。たとえば、「乗り物」のおもちゃが多い場合は、「車」と「電車」に分けたり、スーパーボールのように小さいおもちゃには小さいボックスを用意したりするとよいでしょう。引き出しを使い、細かいおもちゃを引き出しごとに分けるのもおすすめです。細かく分けて片付けすることで、使いたいおもちゃを簡単に見つけられるようになります。



片付けるためのコツを紹介しましたが、子どもがやる気になるにはほめることが大切です。

「片付けをはじめよう。」と声をかけ、できたら「きれいになったね。」「気持ちがいいね。」とがんばれたことをほめてあげましょう。ぜひ、子どもと一緒に片付けを楽しんでください。

